

競 技 注 意 事 項

1 競技について

- (1) 本競技会は、2025 年度（公財）日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項による。
- (2) トラックレースにおいて、不正スタートをした競技者は失格となる。混成競技の不正スタートは 1 回のみとし、2 回目以降に不正スタートした競技者はすべて失格となる（TR16.8）。
- (3) トラックレースで同着が出た場合、1000 分の 1 秒まで拡大し着差を確認する。
- (4) スパイクピンは 9mm 以下のオールウェザー用のスパイクピンを使用すること。ただし、走高跳とやり投は 12mm までの使用を認める。
- (5) 競技用具は、競技場備えつけのものを使用するが、棒高跳用ポールは各校持参のものを使用する。投てき用具については各校持参のものを検査したうえで使用を許可する（個人が持ち込める投てき物は 2 個までとし、当該競技実施日の検査で合格したものに限る）。
投てき用具の検査時間は 1 日目、2 日目ともに 8 時 00 分から 9 時 00 分までとし、検査場所は競技場正面玄関前に設ける。
- (6) 競技で使用する靴底の厚さは競技規則 TR5.2 による。
- (7) 男子 5000m の制限時間を 20 分、男女 5000mW の制限時間を 40 分とする。
- (8) 三段跳の踏切板は砂場まで男子 10m、女子 8m とする。
- (9) 棒高跳に出場する競技者は、支柱移動について現地の競技役員に申告すること。
- (10) 棒高跳の練習は、ゴムバーを使用して行う。

2 アスリートビブス（以下ビブス）について

- (1) ビブスは、高体連配付のものをそのままの形で胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでもよい。
- (2) 3000m、5000m、3000mSC、5000mW に出場する競技者は、招集所で配付する別ビブスを胸部につけること。
- (3) トラック競技出場者は写真判定用の腰ナンバー標識を右腰後方につけること。腰ナンバー標識は高体連推奨のもの（黄色）をそのままの大きさで使用する。リレー競技については第 4 走者のみ腰ナンバー標識をつけること。腰ナンバー標識は 1～16 までは各学校で準備し、17 以降は招集所で配付するものを使用する。
- (4) 混成競技の最終種目においては、その種目までの総合得点の高い方から「1」「2」「3」と順番を示すレーンナンバーと腰ナンバー標識を招集所で受領し、胸と腰に付けること。（腰ナンバー標識はレーン番号とする。）

3 招集について

- (1) トラック種目の招集は招集所で行う。招集所は 100m スタート地点脇（器具庫 1 内）に設ける。フィールド種目の招集は各競技場所で行う。招集開始・完了時刻は競技順序に記載のとおりである。
- (2) 混成競技の招集についても上記のとおりであるが、第 1 日目、第 2 日目ともに最初の種目は招集所で行う。
- (3) 招集は必ず競技者本人が点呼を受けること。ただし、他の種目に出場している場合にのみ当該校の代理人の点呼を認める。招集完了時刻に遅れた競技者は当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- (4) 他種目と同時に兼ねて出場する競技者は、その種目の審判員に申し出て、競技に支障のないようにすること。
- (5) リレー種目に出場するチームはオーダー用紙に必要事項を記入し、第 1 組招集完了時刻の 1 時間前までに招集所に 1 部提出すること。

4 練習場について

- (1) 練習は競技場前及び投てき場を使用すること。また、競技に支障のない範囲で競技場内ボックス

トレートの使用を認める。

- (2) 投てき練習は招集完了後に競技場所で行う練習のみとし、それ以外での用具を使用した練習は行わない。投てき練習は競技役員の指示に従い安全に留意して行うこと。ただし、投てき場でのターン練習のみ可とする。

5 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方 (天候等により変更の場合がある。)

走高跳	男子	1m55 練習	1m60－ (5cm 刻み)－1m90－以降 3cm 刻み
	女子	1m20 練習	1m25－ (5cm 刻み)－1m55－以降 3cm 刻み
混成競技 走 高 跳	男子	1m35 練習	1m40－ (5cm 刻み)
	女子	1m15 練習	1m20－ (5cm 刻み)
棒 高 跳	男子	三段階程度を現地で設定する	2m50－ (10 cm刻み)
	女子	任意	1m90－ (10cm刻み)

順位決定及び県選抜大会出場決定戦のバーの上げ下げは、走高跳では 2cm、棒高跳では 5cm とする。

6 計測記録について

以下の種目において計測記録を設ける。(天候等により変更の場合がある。)

種 目	男子走幅跳	男子三段跳
計測記録	5m20	10m50

7 県選抜大会出場枠

種 目	100m～1500m、5000m	3000m、ハードル、障害、リレー	競歩	フィールド	混成
出場枠	20	16	13	13	8

最後の枠が同成績の場合、以下により決定する。

- ①トラック種目では 1000 分の 1 秒まで実時間を考慮し出場者を決める。それでも同成績の場合は同成績者または代理人による抽選により決定する。
- ②走高跳・棒高跳では出場決定戦を行う。その他フィールド競技においては 1 回の試技による出場決定戦を行う。
- ③混成競技については、同成績者または代理人による抽選により決定する。

8 救護体制について

大会期間中の事故については、医務員による応急手当のみ行う。その後の処置については、各校の引率者の責任において対処すること。内科的症状については各校で対処すること。

9 その他

- (1) 短距離種目では競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- (2) ホームストレート前は通行禁止とし、選手はフィニッシュ後にバックストレートを通行するか、フィニッシュ地点脇のゲートから競技場外に出てスタート地点に戻り、個人の荷物を取り速やかに退場すること。
- (3) ビデオ等による助言は認めるが、その際に競技者が視聴のために当該エリアから離脱する場合は、当該審判員に申し出ること。ただし、文書をもって連絡することは認めない、また、トランシーバーやスマートフォンもしくは類似の機器を競技区域内で所持または使用することは失格となることがある (TR6.3.2)。
- (4) 競技結果の掲示は行わない。トラック種目の次のラウンドへの進出、出場レーン等はアスリートランキングで確認すること。